

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第 3 回 鈴鹿市立庄内小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 5年 8月 3日 (木) 13:30~15:00

2 場 所 庄内小学校家庭科室

3 あいさつ

(学校長)

- ・昨年度までの話を受けて、先生たちと懇談の場をとということで設定しました。
- ・情報モラルや、家庭教育学級など、最近の取り組みを紹介。

(委員長)

- ・難しい話もしながら、楽しい話もはさんで、ざっくばらんに語る場にしてください。

4 協議内容

(1) 自己紹介

- ・ 各委員より
- ・ 教員より

(2) グループ懇談

A グループ

(各学年の取組について)

- ・国語が苦手な、文章が読みたくないという子が多い。単級交流会の中で、内向的な場面がみられた。今回かかわった他校との交流を持っていきたい。
- ・個性豊かな子どもたち。固定化された見方をしてしまう。漢字学習に Chromebook のドリルを活用している。個別での取り組みも頑張っている。
- ・書き順が苦手な児童には、Chromebook のソフトを使って確かめさせるような方法も取り入れている。
- ・共通の課題として、動画などに時間を取られ、読書時間が減っていることが挙げられる。朝読の時間などには読めるが、自主的に読もうとしない。
- ・朝のスピーチなどを通じて子どもたちのことを知るようになっている。
- ・友だちの書いた文章に触れ、自分の文章を見直し、段落を変える姿があった。
- ・2×3を図で表せない子には、具体物(おはじき)を使うなど、アナログの良いところも活用している。

(委員より)

- ・文章問題、特に書くことが苦手なのは課題である。掲示物を見て、今年一生懸命

取り組んでいただいていることは分かった。

- ・分数の割り算など、やり方だけじゃなく、なぜそうなるのかを理解することが大事。少ない人数でも工夫されていることが分かった。
- ・読書の内容も気になる。いつまでも絵本を読んでいるのではどうかと思う。

B グループ

(各学年の取組について)

- ・ボランティアさんの読み聞かせの後、感想を言える姿がある。
- ・1年生は、学校のルールを教えている。相手を見て話す。宿題では、読むことを中心にしている。大事なことを落とさないようにしている。読書活動を大事にしている。ボランティアさんにお世話になり、貸出冊数も増えている。
- ・休み時間は、サッカーブランコが人気がある。
- ・男女の人数のかたよりのがあるが、男女混じって遊んでいるのがよいところ。
- ・課題は、書くことが苦手なこと。
- ・課題は、トラブルが多いこと。意味を知らずに使ったり、よい言葉なのに言われて傷ついたりしてしまう。
- ・語彙の量が子どもによって違うので増やしていきたい。
- ・学力の面では、漢字が心配。「遠足」が、書けなかった。紙で書くより、パソコンに書く方が好む。
- ・本を借りてはあまり読まないが、Chromebook 上の本はよく読む。
- ・Chromebook のまとめでスライドを使わせた。
- ・4年生は、連絡帳もクロムブックで知らせている。親からの連絡は、連絡帳でくるので、出し忘れている子もいる。
- ・支援学級では、学習の理解が難しい子と情緒の安定が難しい子がいる。アナログな部分を大切にしている。実際の物をさわらせてやっている。国語では、範読を聞いて読んでいるところを示して練習している。ICT に振り回されないようにしている。

(委員より)

- ・いろいろなめあてがあった。知れてよかった。
- ・読み聞かせの後、つっこんだ感想を言えるのがすごい。
- ・給食のお手伝いボランティアをしたことがある。5歳で身に着けたほうがいいことはありますか。
- ・今の子は、書くことから離れがち。紙に書くことで、筆圧など学ぶことがある。
- ・保育園で、0・1歳から困ってシャワーをさせている。少しやりすぎかなと思う。学校ではどうか。
→ 水泳の前にデリケートゾーンの授業を行った。
- ・男の子もラッシュガードを着ているのはびっくりした。
- ・自然が豊かなので、身近な動物を聞くと、サル・イノシシなどが出てくる。
- ・先生方は、パソコンはできるのか？いつパソコンの勉強をするのか？
→ 放課後等を使い、研修を行ったり自主的に勉強したりしている。
- ・先生がやるように言ったことで、子ども達に合わないことはありますか？
→ わりと素直にやってくれる。

(3) 意見交流

- ・ 各グループで話された内容の発表

5 コミュニティ・スクール推進コーディネーターより

各校でのアンケートを見ていると、学校運営協議会について、管理職と先生方とのずれが感じられた。管理職は、学校運営協議会についてよくわかっているが、先生たちにはうすうすしか伝わっておらず、見えてこないのので、委員さんと先生方が話す機会を提案した。

いざ、やってみると、何が分かるのか。まず、校長先生が、一年間の方針を示す。そこから話をしていくことで、学校が何をやっているのかわかってくる。

今回、話をしてみて「もう少し教えて」と思ったことを、学校に来た時に続きを聞いてみてほしい。例えば、「文章力を深めるとは、具体的にどうするのですか」など。そこから、地域としてどんな助けができるか見えてくる。

今回、1回目として知り合う子ことできたので、次年度はテーマを絞ってみるとよい。互いのやっていることが見えてくるはずである。

6 次回日程の確認

第4回 11月28日(火) 15:00～

「令和5年度鈴峰中学校区学校運営協議会拡大協議会」

於：鈴峰中学校 体育館